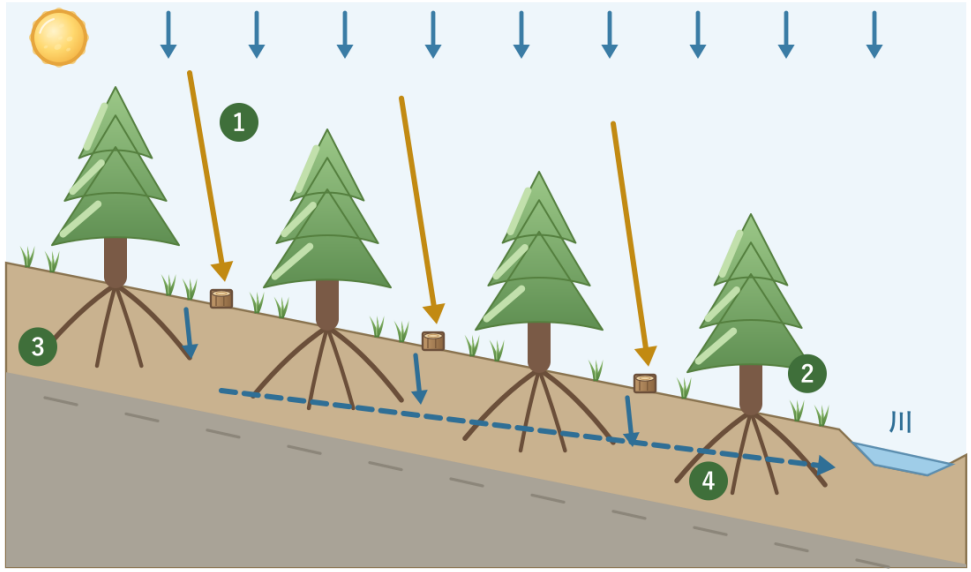
# 手入れをした森林と手入れをしない森林

人工林の手入れをしないと、森林と国土にどんなことが起こるのかな

## 手入れをした森林（間ばつ・下草がりをする）

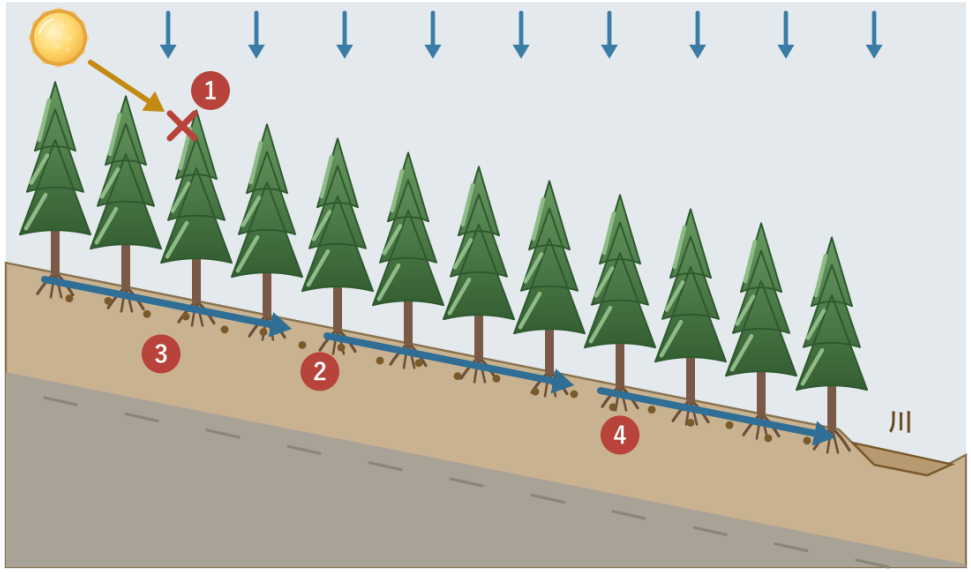
同じ強さの雨




1. 日光が地面まで届く
2. 下草が生え、地面をおおう
3. 木が太く、根が広く張って土をおさえる
4. 雨水が土にしみこみ、少しずつ川へ流れる

## 手入れをしない森林（木が混み合ったまま）

同じ強さの雨




1. 木が混み合い、日光が地面に届かず暗い
2. 下草が育ちにくく、土がむき出しになる
3. 木が細く、根が広がりにくい
4. 雨水が地面を流れ、土もいっしょに流れやすい

## 手入れが遅れるわけ（言われている理由の例）

- 木材の値段が下がり、手入れの費用が出しにくい
- 林業で働く人が減り、お年寄りの割合が多くなる

→ 手入れの行き届かない森林がふえる

## だから、人の手が必要

- 間ばつや下草がりで、森林の働きを保つ人がいる。
- 切った木を使うことも、森林を育てることにつながる。
- 国土を守るために、自分たちにできることを考えよう。

※ 断面の模式で、木の数・雨の強さ・土の流れ方は実測ではない。手入れをしても災害を完全に防げるわけではない。